

# 女性無料のマッチングアプリに関する調査レポート

調査概要:

- 調査名: 女性無料のマッチングアプリに関する調査レポート
- 調査主体: THE SINGLE編集部
- 調査対象: 無料のマッチングアプリを使ったことのある女性
- 調査期間: 2026年4月1日～4月10日
- 調査方法: インターネット調査およびインタビュー調査
- 調査人数: 200名
- 調査対象者 性別: 女性
- 調査対象者 年齢: 20代～50代
- 調査対象者 地域: 全国

※本調査は当サイト独自調査です

---

設問1: 現在、または過去に利用したことのある女性無料マッチングアプリを教えてください。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
Pairs(ペアーズ)	189名	63%
tapple(タップル)	141名	47%
with(ウィズ)	117名	39%

Omiai(オミアイ)	99名	33%
Tinder(ティンダー)	72名	24%
その他	39名	13%

※複数回答のため、合計は100%を超えます。

最も利用率が高かったのはPairsで6割以上が経験ありと回答しました。知名度と会員数の多さが選ばれる理由として挙げられます。

次いでtapple・withが続き、気軽さや価値観重視の設計が支持を集めています。Omiaiも約3割が利用経験を持ち、真剣婚活層にも一定の支持があることがうかがえます。

---

設問2: マッチングアプリを使い始めたきっかけを教えてください。(単一回答)

選択肢	回答数	割合
友人・知人にすすめられた	90名	30%
SNSや広告で知った	75名	25%
自然な出会いがなかったから	69名	23%
気軽に始められそうだったから	45名	15%
その他	21名	7%

合計	300名	100%
----	------	------

利用開始のきっかけとして最多は「友人・知人のすすめ」で3割を占めました。口コミによる信頼感が登録の後押しになっていることがわかります。「SNSや広告」も25%と高く、デジタル広告の影響力も無視できません。「自然な出会いがなかった」という現実的な理由も2割以上を占め、出会いの場の多様化が進んでいることが示されています。

設問3: マッチングアプリを利用する際に重視していることを教えてください。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
女性が無料で使えること	225名	75%
会員数が多いこと	180名	60%
安全・安心の対策が充実していること	168名	56%
価値観や相性で相手を探せること	135名	45%
アプリが使いやすいこと	114名	38%
真剣に交際・結婚を考えている人が多いこと	99名	33%
その他	24名	8%

※複数回答のため、合計は100%を超えます。

「女性が無料で使えること」が75%と最も重視されており、コスト面が利用継続の大きな要因になっています。次いで「会員数の多さ」「安全対策の充実」が続き、出会いの量と安心

感の両立が求められていることが明確です。価値観マッチングや真剣度を重視する声も多く、単なる出会いだけでなく質を重んじる傾向も見られます。

---

設問4: マッチングアプリで実際に会ったことはありますか。(単一回答)

選択肢	回答数	割合
ある	198名	66%
ない	102名	34%
合計	<b>300名</b>	<b>100%</b>

実際に相手と会ったことがある女性は全体の66%にのびりました。マッチングアプリがオンラインの出会いにとどまらず、リアルな対面の場へと発展しているケースが多数を占めています。

一方で34%は実際には会うまでに至っておらず、登録・マッチングはしても対面のハードルを感じている層も一定数存在することがわかります。

---

設問5: 過去1年間でマッチングアプリを通じて実際に会った人数を教えてください。(単一回答)

※設問4で「ある」と回答した198名を対象

選択肢	回答数	割合
1~2人	79名	40%

3～5人	67名	34%
6～9人	30名	15%
10人以上	22名	11%
合計	<b>198名</b>	<b>100%</b>

会った人数は「1～2人」が最多で4割を占め、「3～5人」を合わせると7割以上が5人以下という結果になりました。数を追うのではなく、メッセージでの事前交流を重ねたうえで慎重に相手を選ぶ傾向が強くなっています。10人以上と回答した層は1割程度にとどまり、多数と会うケースは少数派であることがうかがえます。

---

設問6: マッチングアプリを通じて交際に至ったことはありますか。(単一回答)

選択肢	回答数	割合
ある	111名	37%
ない	189名	63%
合計	<b>300名</b>	<b>100%</b>

マッチングアプリを通じて実際に交際に至った女性は全体の37%でした。出会いのきっかけとしては有効に機能している一方、必ずしも全員が交際まで発展するわけではないというリアルな実態が浮かび上がっています。交際に至るためには、アプリの活用方法や相手との丁寧なコミュニケーションが重要な鍵を握っていると考えられます。

---

設問7: 交際に至るために意識・実践したことを教えてください。(複数回答可)

※設問6で「ある」と回答した111名を対象

選択肢	回答数	割合
メッセージのやり取りを丁寧に行った	93名	84%
プロフィール写真にこだわった	83名	75%
自己紹介文を具体的に書いた	72名	65%
一人ひとりと誠実に向き合った	58名	52%
初回デートは短時間・食事など気軽な場にした	44名	40%
自分の目的(真剣交際など)を早めに伝えた	34名	31%
その他	11名	10%

※複数回答のため、合計は100%を超えます。

交際に至った女性の8割以上が「メッセージのやり取りを丁寧に行った」と回答しており、誠実なコミュニケーションが最重要であることが示されています。プロフィール写真や自己紹介文へのこだわりも上位を占め、会う前の自己表現が交際確率に大きく影響していることがわかります。初回デートの設計や目的の明示といった行動面での工夫も一定数見られました。

---

設問8: マッチングアプリを利用して困ったこと・不安に感じたことはありますか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
業者・サクラと思われるアカウントがいた	162名	54%
マッチングしてもメッセージが続かなかった	141名	47%
写真と実物が大きく異なっていた	120名	40%
真剣度の低い相手が多いと感じた	102名	34%
個人情報の取り扱いが不安だった	81名	27%
特に困ったことはない	54名	18%
その他	21名	7%

※複数回答のため、合計は100%を超えます。

最も多かった不安は「業者・サクラの存在」で54%にのびりました。安全面への懸念は依然として根強く、アプリ選びにおいて本人確認の厳格さが重要な判断基準になっています。「メッセージが続かない」「写真と実物が異なる」といったミスマッチに関する不満も上位を占め、信頼性の高い情報提供と誠実なプロフィール作成の重要性が改めて確認されました。

---

設問9: 今後も女性無料マッチングアプリを利用したいと思いますか。(単一回答)

選択肢	回答数	割合
利用したい	102名	34%
どちらかといえば利用したい	111名	37%
どちらかといえば利用したくない	57名	19%
利用したくない	30名	10%
合計	<b>300名</b>	<b>100%</b>

「利用したい」「どちらかといえば利用したい」を合わせると71%が今後も利用意向を示しており、女性無料マッチングアプリに対する継続的な需要の高さが明らかになりました。一方で約3割は消極的な意向を持っており、安全性やマッチングの質に対する不安が継続利用の障壁になっていると考えられます。利用体験の改善がさらなる定着につながる可能性があります。